

研究協力のお願

昭和大学横浜市北部病院では、下記の臨床研究を行います。この研究は臨床情報を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へご連絡ください。

1. 課題名			
Cetuximab による皮膚障害予防にミノサイクリンが投与されている患者における ミノサイクリン耐性菌の検出状況の調査			
2. 研究責任者	所属	職名	氏名
昭和大学横浜市北部病院	薬学部病院薬剤学講座	助教	木村 祐子
3. 研究の概要・計画			
研究背景：Cetuximab 投与患者において皮膚障害は高頻度に見られ、QOL を著しく低下させる文献報告がある。予防にはミノサイクリンの長期持続投与が有効と報告されており、当院を含む多くの病院で応用されている。皮膚障害の予防に用いるミノサイクリンの投与期間は、6 週間が目安と言われているが、Cetuximab の投与期間に合わせ長期に渡ることも多い。抗菌薬の長期投与は耐性菌の発生を惹起する恐れがあるが、ミノサイクリンの長期服用と耐性菌に関する報告は少ない。			
そこで本研究では、後方視的カルテ調査を行い、ミノサイクリン服用患者における種々の耐性菌の検出動向を調査する。			
調査対象期間：2008 年 9 月から 2016 年 8 月までに記載された検査結果			
調査対象情報：Cetuximab とミノマイシンの投与を受けている患者の診療録			
調査項目：患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、退院日、入院期間、転帰、入院時入院形態）、Performance Status、がん腫、病期分類、パス/レジメン名、施行コース、投与薬剤、投与量、併用薬、皮膚科受診歴、現病歴、前治療歴、既往情報、アレルギー情報、経過記録表、検査歴一覧（生化学・血液学的検査、病原体検査歴と薬剤感受性）			
4. 研究実施期間			
倫理審査承認後に実施医療機関の長の実施許可を得た後～2017 年 8 月 31 日			
5. 問い合わせ先			
昭和大学横浜市北部病院 薬学部病院薬剤学講座 職名：薬剤師・助教 氏名：木村 祐子			
住所：〒224-0032 神奈川県横浜市 都筑区茅ヶ崎中央 3 5-1			
電話番号：045-949-7000			

なお、個人情報の保護のため、診療情報はすべて個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号など）を削除し独自の記号を付して取り扱い、研究成果を学会や論文で発表する際も個人情報を出すことはありません。